



HIYOSHIDAI

平成28年7月1日

発行

日吉台学区自治連合会

日吉台学区まちづくり協議会

発行責任者

林 堅 太 郎

編集責任者

村澤 真保呂

題字は

4-11-2

梶谷清苑さん

恒例、夏まつり多彩に

7月30日夕、日吉台小で

日吉台学区の夏の風物詩、学区自治連などの実行委主催の第18回夏まつりは、7月30日午後5時半～同8時半、日吉

台小学校グラウンドで開催される。30日が雨天の場合は、翌31日に順延。31日も雨天などで中止の場合は、同日午後2時、

第18回

日吉台夏まつり

★今年も楽しいイベント満載！ 日吉台夏まつり実行委員会 委員長 野々口 隆夫

★模擬店・遊びのコーナーもあるよ！

★お買物通行：松ざき大薬房（お問い合わせ 0579-3944 坂口幸也）

☆土・日曜日が中止の場合は、日曜日の時より市民センターで材料即売会を部部販売で開催します！！

平成28年7月30日（土）

17：30～20：30（雨天順延：31日）

場所：日吉台小学校グラウンド

★場内整理にご協力下さい

★お車でのご来場、ペット連れのご来場はご遠慮下さい



市民センターで、模擬店、出店材料の原価即売会を行うことになっている。6月5日、市民センターで、28年度日吉台夏まつりの第1回実行委が開かれ、開催日程などが正式に決まった。イベント、出店などについては、6月26日に開催する第2回実行委で最終決定するが、模擬店や遊びのコーナー、お神輿巡行など今年も楽しいイベントが満載。例年と内容、規模は

ほぼ変わらないよう。実行委によると、隣接する下阪本学区が今年初めて、夏まつりを計画、開催日が偶然、日吉台学区夏まつりと重なった。日吉台では、例年、イベントの目玉として、日吉中学校ブラスバンドに出演を依頼、演奏してもらっていたが、下阪本学区も同中ブラスバンドの出演希望していたことが判明した。このため、両学区自治

連と実行委代表で協議を行い、日吉中ブラスバンドは、今年度初開催の下阪本学区に出演してもらい、来年以降は、交互に出演依頼することになった。日吉台では、日吉中ブラスバンド演奏に代わるイベントを検討している。

文化祭・出展 参加募集

10月21～23日開催

日ごろの練習の成果や丹精込めた作品など一堂に会する「第32回日吉台学区文化祭」は、10月21日～23日、日吉台市民センターで開催される。作品展示、体験教室は、参加申し込みは、8月1日締め切り。公民館備え付けの用紙に必要事項を記入のうえ、日吉台公民館へ申し込む。参加希望の個人・団体

「学校で泊まろう！」まちづくり協議会子育て応援隊は、夏休み中の8月2～3日、日吉台

学校で泊まろう

子育て 応援隊

熊本地震募金

30日まで

小学校で、同小1年生から6年生を対象にお泊り会を実施する。これは、県社会福祉協議会「こども未来基金」の助成金事業。

子供たちは、夕方に集合、自分たちでカレーを作り、夕食後、大津市科学館から借りた本格的な反射望遠鏡と屈折望遠鏡で、木星、火星、土星など夏の夜空を観測、同小

理科講師の市橋先生から夏の星座について解説してもらう。

お楽しみは、夜の体育館での自由遊び。消灯は10時の予定。希望者を対象に、早朝からカブトムシなどを採しに行くツアーも予定、朝食後、ラジオ体操に参加して解散する。参加希望など詳細は、学校から資料配布が予定されている。

堀場製作所完成式

三日月知事ら出席、門出祝う

世界シェア8割を誇る自動車排ガス測定機器などを造る計測・分析機器メーカー「堀場製作所」が日吉台住宅地の東の玄

関口、大津市苗鹿1丁目に建設していた同社最大の開発・生産拠点「HORIBA BIAWAK OEHARBOR」



写真は完成した堀場製作所の全景

（イーハーバー）が完成した。完成式は5月23日に行われ、三日月大津県知事、越直美大津市長ら約250人が出席、テープカットを行い、オープンを祝った。

同社によると、約59,000平方メートルの敷地に延べ28,000平方メートルの10階建て建物。京都本社老朽化に対処するため保管、物流施設をそなえた新工場。製造するのは自動車排ガス測定装置ほか、火力発電所などにある煙道排ガス測定装置など、売り上げの半分から3分の1を占める同社の主力商品。

600人の従業員が働くことになっている。

空き家対策事業7月スタート

各自治会に委員推薦依頼

日吉台学区で増加する空き家の有効活用をはかる学区まちづくり協議会の「空き家対策事業部」が7月発足、活動を開始する。6月開いた学区自治連定例役員会で、同協

議会が、計画の概要を説明、各自治会に対し、事業部員の推薦を依頼した。空き家対策事業部は、防災、防犯の観点から空き家をなくし、有効利用

でにぎわいのある住みよい日吉台を目指すのが狙い。学区まちづくり協議会が、空き家問題について対策を検討、5月の全体会議で事業部設置を決

めた。事業部の組織は、各単位自治会から推薦の委員8人ほか、これまで空き家問題について諸課題や問題点を検討してきたまちづくり協議会事務局員1～2人で構成、学区内で法律や不動産、建築等に詳しい専門家などにも組織に加わってもらうことになっている。活動計画によると、来年5月までを1期として、組織づくりをしたあと、日吉台における空き家対策のあり方を検討、

10月を目途に学区内にある空き家の実態調査に入る予定。学区内には、同じ空き家でも人が住んでいない住宅、時折、家人が清掃などで訪れる住宅、売買可能な住宅、賃貸希望のある住宅など形態はさまざま。しかし、実態調査に入るには、プライバシー上、住民単独の調査には、限界があり、行政の協力も不可欠。ここでは、住民が単独で行える活動、行政協力が必要な活動などの確認作業なども行う。

29年6月～30年5月の第2期で、実態調査結果を受け、実際の行動計画を策定などを行い、各協力事業所、企業、行政との連携作業を詰めることにしている。第3期では、平成31年5月までに空き家所有者に連絡を行い、売買、賃貸などが可能ななどの相談に入り、連携企業やホームページへの情報提示などの活動へと進むことになっている。

住みこち、ほぼ満足

災害対応に不安視も

3丁目西
住民調査

8割を超える人が20年以上住み、住みこちにほぼ満足——。日吉台3丁目西自治会（常盤孝夫会長）が今年春、3丁目西地区で行った「住みよい街づくり住民アンケート」でこんな調査結果がまとまった。調査は、今年4月28日から5月8日まで3丁目西地区に住む自治会未加入者を含む全世帯191世帯を対象に実施、132世帯から回答を得た。回答率は69.1%、回答世帯のうち11世帯が自治会未加入世帯だった。

回答者のうち、居住年数20年以上が110世帯、83.3%を占め、60歳代以上の世帯が8割を超えているのに対し、20歳代は0、30歳代世帯も2世帯しかなく、日吉台全体と同じように高齢化社会を示している。

住みこちについては、「まあ、まあ住みやすい」が71.2%の94世帯、「非常に住みやすい」が17世帯の12.9%。合わせて84.1%の世帯がこの日吉台の住みこちにほぼ満足して暮らしていることが分かった。

日常生活で不安を感じていることに複数回答を求めたところ、「地震、火災など予期しないことが発生した場合の対応」

が85世帯と最も多く、

「高齢化に伴う医療、福祉面での対応」が41世帯、「日常的な買い物の足の確保」が、13世帯と続き、一方で「特に不安を感じていない」世帯が32世帯あった。

自治会活動への今後の参加、協力について加入世帯への質問では、「自主的参加、協力していきたい」が31世帯の23.5%、「頼まれれば参加、協力したい」69世帯52.3%。「参加、協力した

くない」と答えた11世帯の理由として、まだ仕事を続けている、高齢のため、健康上の理由などを挙げている。

自治会に期待する活動については、「誰もが気軽に話し合える交流の場づくり」が52世帯、27.4%をトップに「地域の防災、防犯活動の強化」42世帯22.1%、「高齢者に対する支援活動」28世帯14.7%の順に続いた。

保存版

住みよい街づくり 住民アンケート 調査結果報告書



大津市日吉台3丁目西自治会
(平成28年5月調査)

新鮮、手づくり野菜、即売



活力ある日吉台づくりをめざす「第1回野菜マルシェ」が6月18日、旧滋賀銀行日吉台出張所前アーケードで開催され、地元住民が地元で生産した手づくり野菜が多数出品されたところ、開店前から人だかりで、にぎわいをみせた。写真：野菜マルシェは、学区まちづくり協議会が、人が集えるまちを造ろうと、マルシェ事業部を設置、今回初の開催。とりたて新鮮、安全な地元野菜を提供する、をPRしている。

初開催となった野菜市には、トマト、ナス、キュウリ、玉ねぎなどの旬の夏野菜ほか、トルコキキョウなどの花々なども。ほとんどが地元、日吉台や近郷の人らが趣味で生産した野菜の数々。50円、300円の格安価格で即売されオープン前から大勢の住民が訪れ、午後3時半ごろには、用意した25種の野菜は完売、市は終始活気づいていた。野菜マルシェは、月に1度の開催を予定しているが開催場所は、いまところ定まっていない。7月30日の夏まつりにも初出店の計画もある。

初の野菜マルシェにぎわう

アンケートでは、自治会に加入していない世帯にも理由などについて質問しており、回答があった11世帯では、自治会に入っていない理由について「自治会役員に当たれば担当できない」7世帯、「世帯が高齢化」3

世帯、「仕事や子育てなどで活動に参加する時間がない」2世帯、「自治会活動に関心がない」1世帯——と答えをあげていた。では、加入していないことで困っている点を聞いたところ特に困ることはないが7世帯あった

のに対し、「災害時の対応がわからない」、「回覧物、配布物がないので情報が入ってこない」がそれぞれ3世帯ずつあり、災害時対応に不安を感じ、情報不足に懸念を示していた。

3西地区

日吉台住宅地北西部の空地に仕掛けたオリに5月27日朝、イノシシ1

イノシシ捕獲

頭が捕獲されているのを近くの住民が見つけた。地元3丁目西自治会などは、県、大津市に捕獲を報告、駆けつけた県猟友会坂本支部の猟友会員が処分した。



捕獲されたイノシシは、雄の成獣。体長約130センチ、体重100キ、推定年齢7、8歳前後。写真：この日午前7時ごろ、近くの川越久聖さん（66）がオリにかかっているのを発見、通報した。川越さんによると、午前0時ごろから1時ごろにかけて、飼った犬がおびえるような普段みられない行動をしたという。

夏休みラジオ体操

午前7時開始

日吉台青少年育成学区民会議の夢・未来事業推進委員会は、夏休み期間中の7月21日～8月31日、今年も日吉台小グラ

ウンドで、夏休みラジオ体操を催す。ラジオ体操は、午前7時から約10分間。土、日、祝日を除く平日。雨

天の場合は中止となる。申し込みは不要。問い合わせは、同事務局の山本由美さん（090・4279・8798）まで。

お知らせ

◆6月1日付けの日吉台SOSネットワークの記事、ネットワーク事業原案作成について、自主防犯推進会に依頼していましたが、原案は、学区自治連が作成したものでした。おわびして訂正します。

日吉台新聞編集部